

さみどり

にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより
令和6年度 第5号 (12/2発行)



一色小学校は創立60年目を迎えました。



2024年もあと約1か月を残すのみとなりました。運動会に始まり、様々な秋の行事も落ち着き、2学期のまとめの時期となります。夏の暑さがうそのように、少し寒くなってきましたが、子どもたちは、毎日、元気に学校生活を送っています。

オールフレンズ集会

11月7日(木)に「60周年記念オールフレンズ集会」を行いました。運動会のとく同じ縦割り班で行う行事で、異学年との交流を深め、よりよい人間関係を育むことと、お互いを認め合いながら自分の役割を果たそうとする気持ちを育てることをねらいとしています。また、発達の段階に応じて、それぞれの学年でのめざす子どもの姿を次のように考えています。

- 1年生：異学年との交流に慣れ、協力して活動に参加し、班の友達と仲良くなる。
- 2年生：1年生の1つ先輩として、集団で行動する時のルールを守り、活動に進んで協力できる。
- 3年生：下学年のリーダーとして、自分のできることを考えて行動し、活動に進んで協力できる。
- 4年生：班の一員としての自覚をもち、来年は高学年になることを意識して、まわりを見ながら行動できる。
- 5年生：6年生を支える立場としての自覚をもち、来年は6年生になることを意識して、自分ができることを考えて行動できる。
- 6年生：班のリーダーとしての自覚をもち、みんなのために自分ができることを考えて行動し、班をまとめる。

当日を迎えるまでに、朝の時間を使って、縦割り班活動を行い、6年生が中心となって、班のめあてを考えたり、当日のウォークラリーで回る順を決めたりして、準備をしてきました。

当日は、各学年2人程度ずつの縦割り班で、まず給食をみんなで楽しく食べました。少し恥ずかしそうにしている子、一生懸命に話題を考えて、盛り上げようとしている子など、普段とは違う雰囲気の中での給食となりました。



その後、体育館に移動して開会式を行い、それから班ごとに、10のポイント(カードゲーム、ボウリング、カン積み、昔遊び、ドミノ、ビンゴ、ふうせんバレー、的あて、キックターゲット、くつとぼし)を回って、仲良く遊んだりゲームをしたりして、楽しみました。

今年度は60周年記念ということで、ゲームの中に60周年ニョッキが現れたりしていました。



また、昨年度に引き続き、いくつかのポイントで学校運営協議会の方々にも協力していただき、いろいろな場所で、温かい交流が見られ、笑顔と歓声が広がっていました。



ドミノが途中で倒れてしまったり、カン積みでせつかく高く積み上げたカンが崩れてしまったりなど、うまくいかないことがあっても、気持ちを切り替えて、笑って楽しむことができていたのも、子どもたち一人ひとりの成長と一緒にいる温かい仲間のおかげだと思います。



ふうせんバレーでは、全員が風船に触れるように、上級生が優しくパスをしてあげている姿もありました。班の中で誰かが成功すると、みんなで喜び、失敗しても優しく声をかけ合い、班のみんなで協力して、各ポイントを回っていました。



閉会式では、セーフアウトクイズで盛り上がり、「風のにおい」の歌で退場しました。

6年生が中心となって、丁寧に下級生に声をかけたり、一緒に遊んだり、みんなで思いっきり楽しみながら、温かく思いやりのある行動がたくさん見られました。上の学年の子たちが、自分よりも下の学年の子と接することで、こんなにも優しいすてきな姿を見せてくれるのだと、とてもうれしい気持ちになります。そして、そういう上の学年の姿を見ることで、下の学年の子たちも、憧れを感じ、自分もそうなるように頑張ろうという気持ちが芽生えます。一色小学校は、小さな学校だからこそ、同年齢の人数が少ない分、他の学年との触れ合いを多くもつことができるという良さがあります。これからも、いろいろな場面で、異学年が交流する機会を増やしていきたいと思います。



こちらに載せきれなかった各ポイントの写真を裏面に掲載します。